

2024年度 日本工学院八王子専門学校											
放送芸術科											
映像リテラシーE 2											
対象	2年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	平岩基			実務経験	有	職種	CM制作会社、広告代理店、映画会社				
授業概要											
「美」「心理」という視点からメディアコミュニケーション全般を学びます。											
到達目標											
映像クリエイティブのパターンを知ること、映像手法の引き出しを増やすことができる。映像の本質を知ること、業務遂行時により柔軟な対応ができるようになる。なぜその映像が生まれたのか、どのように利用されているのか。紹介する映像・資料を咀嚼し、自らの専門領域に応用できるようになる。											
授業方法											
毎回設定されたテーマ別に、アーカイブ映像を交えながら、「サンプル視聴」→「ポイントの整理」→「定着」を行う。基本的に座学であるが、積極的な参加を促すために「アンケート」「小テスト」などを適宜実施する。授業終わりに質問を受け付ける。											
成績評価方法											
学期末に試験を行う。成績は試験結果と出席率の総合評価。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。											
履修上の注意											
授業時数の4分の3以上出席しない者は、定期試験を受けることができない。遅刻・途中退出をしないこと。（正当な理由がある場合は、その旨、申し出ること）授業中に内部資料を扱うことがあるため、授業内容をSNSに書き込むことを禁ずる。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に提示する。											
回数	授業計画										
第1回	撮影現場に欠かせないメイク。その実態と可能性に気づく。化粧、メイクの本質を理解する、顔を作ることの意味を理解する、VFXとしての特殊メイクを知る										
第2回	言葉は知っているものの、よく知らないブランドを理解できる。ブランドの本質を知る、ブランディングについて理解する、法的権利について理解する										
第3回	タレント論。子役の役割を知り、理解する。子役の立ち位置を理解する、天才子役の実例を知る、子役ハンドリング知識へのアプローチ										

2024年度 日本工学院八王子専門学校	
放送芸術科	
映像リテラシーE 2	
第4回	タレント論。なぜ外国人タレントがもてはやされたのか。外国人タレントの特異性を理解する。外国人タレントの特殊性に気づく、ハーフモデル、外国人タレントの実例を知る、外国人タレントのバリューを理解する
第5回	今や映像クリエイター必須のダンス。その歴史を俯瞰できる。ダンスの基本としてのバレエを知る、日本初の舞踏を知る、世界のダンスを知る
第6回	音楽とダンスの融合。ミュージカル映画を徹底的に知る。映画とダンスの関係を理解する、ミュージカル映画の実例を知る、MVへの応用に気づく
第7回	意外な盲点。衣装の意味と役割を知る。制服の使い方を知る、白衣の意味を理解する、学生服の使われ方を知る
第8回	戦隊モノからアイドルグループまで。ユニフォームとしての衣装を理解する。軍服の意味を理解する、同じチーム員としてのユニフォームの意味を知る、ゴレンジャーがもたらした制服革命について知る
第9回	恐怖訴求とは何か。その効用を理解する。人が持つ恐怖心を理解する、お化け屋敷プロデューサーの仕事を知る、広告に使われる恐怖訴求について知る
第10回	人を狂わせる射幸心。その魅力と功罪を理解する。射幸心を理解する、ギャンブルの魅力と危険性を知る、企業による射幸心訴求例を知る
第11回	比較広告の原理と応用を理解する。比較するための手法の理解、使用前と使用後の使い方を理解する
第12回	実証広告の原理と応用を理解する。実証広告について知る、実証広告の作り方を知る
第13回	ドキュメンタリーがなぜ人を惹きつけるのか？その秘密を知る。ドキュメンタリーについて理解する、ドキュメンタリー映画を知る、CMにおけるドキュメンタリーの効果を知る
第14回	現在の日本カルチャーのお手本はアメリカ。日本とアメリカの関係を理解する。進駐軍について知る、アメリカンカルチャーの例を知る、クリスマス秘話を知る
第15回	一年のまとめ。映像の魅力を改めて理解する。リュミエール映画の再発見、映像におけるフレームの意味、編集の意味を理解する